

加佐登地区 まちづくり 企画書

～ 個人が輝き・人が繋がって ～

加佐登地区まちづくり協議会

令和2年(2020年)3月

加佐登地区まちづくり企画書

‘鈴鹿市総合計画2023 将来都市像の実現に向けて’
市民主体の地域づくりを鈴鹿市と協働で展開

将来「10年後のありたい姿」を目指し 中期計画【2023目標達成】のロードマップ

加佐登地区

現状把握と住民要望事項に沿って

加佐登地区の特性を活かし、
住み良い地域づくりを実践する
基本構想と目標策定

高度情報化代に対応した
地域の発展

『人』を主役に、‘個人が輝き’人が繋がり地域の活性

活き活き加佐登地区
地域の総智で創ろう!!

鈴鹿市へ要請

ありたい姿

加佐登地域の取り組み

健康づくり促進

- ・運動公園
- ・ジムを備えた体育館

公共交通の利便性

- ・コミュニティバス
- ・乗り合いタクシー
(AI活用ライドシェアなど)

地域の

総合センター整備

- ・地区市民センター・公民館
のリニューアル化
(活気で明るい環境)

安全(防犯・交通)環境整備

- ・加佐登駅前リニューアル
ロータリー化
- ・神戸長澤線の安全対策

- ・明るく
安全なまち
- ・美しいまち、
歴史と名所
- ・交通の利便性
- ・地域を挙げた
健康づくり
- ・伝統文化と
文化的趣味の拡大
- ・子どもの健全育成
- ・地域農業と
食の活性化

防犯・防災・安全強化と まちの美化

- ・交通安全指導と体制整備
- ・防犯未然防止策の促進
- ・清掃・除草の充実化

健康づくり促進

- ・参加しやすい種別の拡大

公民館事業の拡大と 活性化

- ・住民文化活動の
活性化／拡大

地域と子ども育成の活性化

地域と高齢者の 活き活き施策

農芸の改良・進化と育成

住民一人ひとりの得意を活かし、全員参加のまちづくり



夏休み企画
 地元の自然の中で
 遊ぼう
 ～ネイチャー
 ビンゴゲーム～

個人が輝き、人が繋がって

皆さん一人ひとりが、得意なことを輝かせ、生きがいをもつこと。

個人の尊重を原点に、「個人が輝き・人が繋がって」をキャッチフレーズにしました。

私たちが暮らす加佐登地区は、鈴鹿市の西部に位置し、田畑の広がる恵まれた自然環境と住宅地（10自治会）が共存する地域です。

地域内には、市内随一の大規模公園である鈴鹿フラワーパークがあり、多くの人が憩いを求めて訪れています。

また、史跡・旧跡に加えて、伝統的な祭りも伝承されており、豊かな歴史・文化が地域性に彩りを添えています。

加佐登地区のまちづくり活動は、平成14年（2002年）から、市内で一番早く取り組んできました。

しかし、近年、少子高齢化の進行や価値観の多様化など様々な課題に直面する様になってきました。

今回、「この地域に住んで良かった」と感じられる核心部分を、「安全安心」、「健康づくり」に据えて計画づくりをし、企画書としてまとめました。



農芸部：加佐登幼稚園児と一緒に野菜植え



農芸部：野菜の育て方についてのお話会

加佐登地区 現状分析 結果 要約

加佐登地区の環境

*人口；5,500人（2030年迄ほぼ変化無し）
《年少；13%、現役世代；60%、シニア；27%》

*10自治会より構成

加佐登第一、加佐登第二、加佐登第三、加佐登第四、
高塚町、津賀町、広瀬町、広瀬町能褒野
白鳥レイクタウン、白鳥ニュータウン



荒神山観音寺



白鳥塚古墳



加佐登神社



白鳥湖



鈴鹿フラワーパーク

加佐登地区10自治会（会長・役員）アンケート要約

各自治会の運営状況；概ね満足

困り事と要望

公共交通不便さは今後の生活死活問題
幹線道路（県道・市道）の抜本的な交通安全対策
地域活性化施策の融合で
子ども～現役世代～シニア世代と繋がる
専門部・公民館活動に
‘生き生き生活’を期待している。



ライドシェア&AIタクシー



現役世代《自治会人選・子育てママ・学校関係》懇談会要約

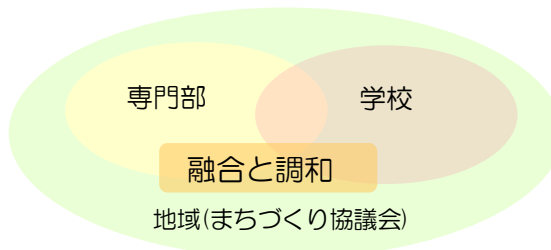
次世代加佐登地区の担い手・・・建設的意見で地域の総合力で進化を切望

‘わがまち かさど’の伝統と更なる住み良い加佐登への進化

地域防災の進化



自主防災隊

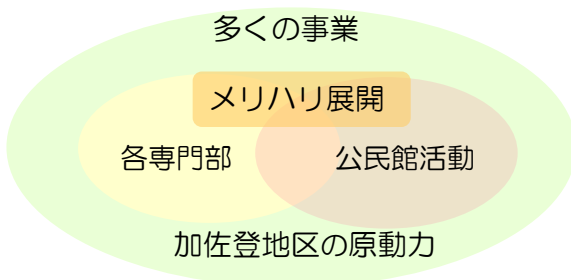


広報活動の進化

各専門部のヒアリング要約

各専門部とも現行行事・施策は充実 ⇒ 更なる要望

マンネリ防止と誰もが参加し易い種目の拡大



誰もが気軽に参加



住民

人が主役・人が繋がって

地域計画策定委員会の様子



まちづくりは、「人が主体」を基本理念に取り組んでいきます。
計画を進めるにあたり、現状について、自治会役員、まちづくり協議会の各専門部、各世代別アンケート及び現役世代の参加をいただいた意見交換会を開催しました。

住民の方からのご意見（抜粋・要約）

1 子どもの健全育成

- ・夏休みのペットボトルロケット、流しそうめんはとても楽しく思い出として残っています。バケツ稲は、稲を育てることの難しさを知りました。（現高1）
- ・青少年育成部の夏休み企画など、参加してみると楽しい、郷土愛、思い出に残る。

2 健康づくり（心身共に）、3 健康増進

- ・老人と子どものふれあい行事などがあると良いと思います。
- ・子どもが参加出来る。親子で参加できる簡単なスポーツ、宝探しウォークラリー等
- ・公民館活動を知らなかった。サークル活動を知らなかった。

4 体験農芸・食の文化活動

- ・この地域ならではのと思うので体験野菜教室など自然とふれあえる機会をととても大事にしています。
- ・親子で参加できるなら是非参加したいです。
- ・加佐登の良いところは、農業のできる土地とその道のプロがいる。荒地活用にもつながる。

5 安全安心、6 防災活動

- ・危険箇所マップづくりは必要だと思う。
- ・小学校入り口に防犯カメラがない、誰が来たかわからない。防犯カメラの設置を。
- ・災害の際、ボランティアの受け入れ体制、人材育成必要

7 加佐登地区の文化財・継承文化の保護と活動

- ・様々な場でPRしていき、住んでいる人にもっと知ってもらえるような宣伝活動を。
- ・学校を通じて行くと子どもの「知」の向上、地元に関心を持つことになるのでは。
- ・かんこ踊り保存会役員として継承難しい。子どもをどの様に入れるか課題

加佐登地区まちづくり概念 《ベクトル合わせ相関》



地域ぐるみ
交通安全

《園児～高齢者まで
活動と交流》



大人も楽しく
子ども育成
物づくり活動

《木工・金属・粘土・紙など》



野外活動
体験学習
スポーツ

《インストラクター・
先生の確保と育成》



体験農芸
農芸祭

《作物と料理の提供》
《野菜・花・植木》

安全・安心
美しいまち

健康づくり
心身ともに
豊かに

個人が輝き
ひとが繋がって



コラボ展開

交通防犯部・駐在所
防災安全部・消防分団
まちづくり実行委員会

コラボ展開

体振部・文化部・
農芸部・民生部・
青少年育成部

防犯・防災・美化



生涯
活き活き生活
このまちに
住んで良かった

地域全員参加で作る
明るく住み良い加佐登

まちづくりの進捗が
タイムリーで
活動に繋がる広報活動

屋内活動
伝統文化の継承と
地域の活性化
趣味の拡大・発展
子ども～高齢者の
趣向参加者拡大

まちづくり協議会 インフラ整備推進と総合計画の推進

加佐登駅のパトロール



朝の交通指導



加佐登のまちづくりをどのようにするか

「安全・安心、美しいまち」

平成24年のJR加佐登駅の無人化に伴い、庄野地区自治会と協力して、駅前周辺パトロールを実施しており、利用者の皆さんには安全安心の光景として定着しています。

また、通学路での安全確保の面では、朝の交通安全指導に加え、ボランティアの方が1台で活動していた加佐登小学校青パトを、今年度から3台体制に強化しました。

その他、防犯安全面では、県道の安全確保、防犯カメラの設置などご意見をいただいております行政とのコラボを含めて取り組んでいきます。

「防災安全部の新設」

昨今の異常気象や南海トラフ地震等災害に備え、地域に合った防災安全を地区消防分団及び各自治会自主防災隊との繋がりで体制整備をし、防災マニュアル、地域のハザードマップを作成します。

更に、マニュアルに沿った防災シミュレーション、訓練など普段から防災対応を展開します。

加佐登地区
防災訓練
令和元年5月26日



公民館講座「いきいき健康教室」



「健康づくり・心身ともに豊かに」

体力的な面だけでなく、精神的な健康も大事だと捉えています。各専門部と公民館で、スポーツ、モノづくりでの野外・屋内活動、農業体験、文化活動のコラボ展開を考えています。

また、地域活性化に必要とされるインフラ整備などについて、市による人的、財政、物的支援のもと、活性化を進めていきます。

まちづくり企画展開体制

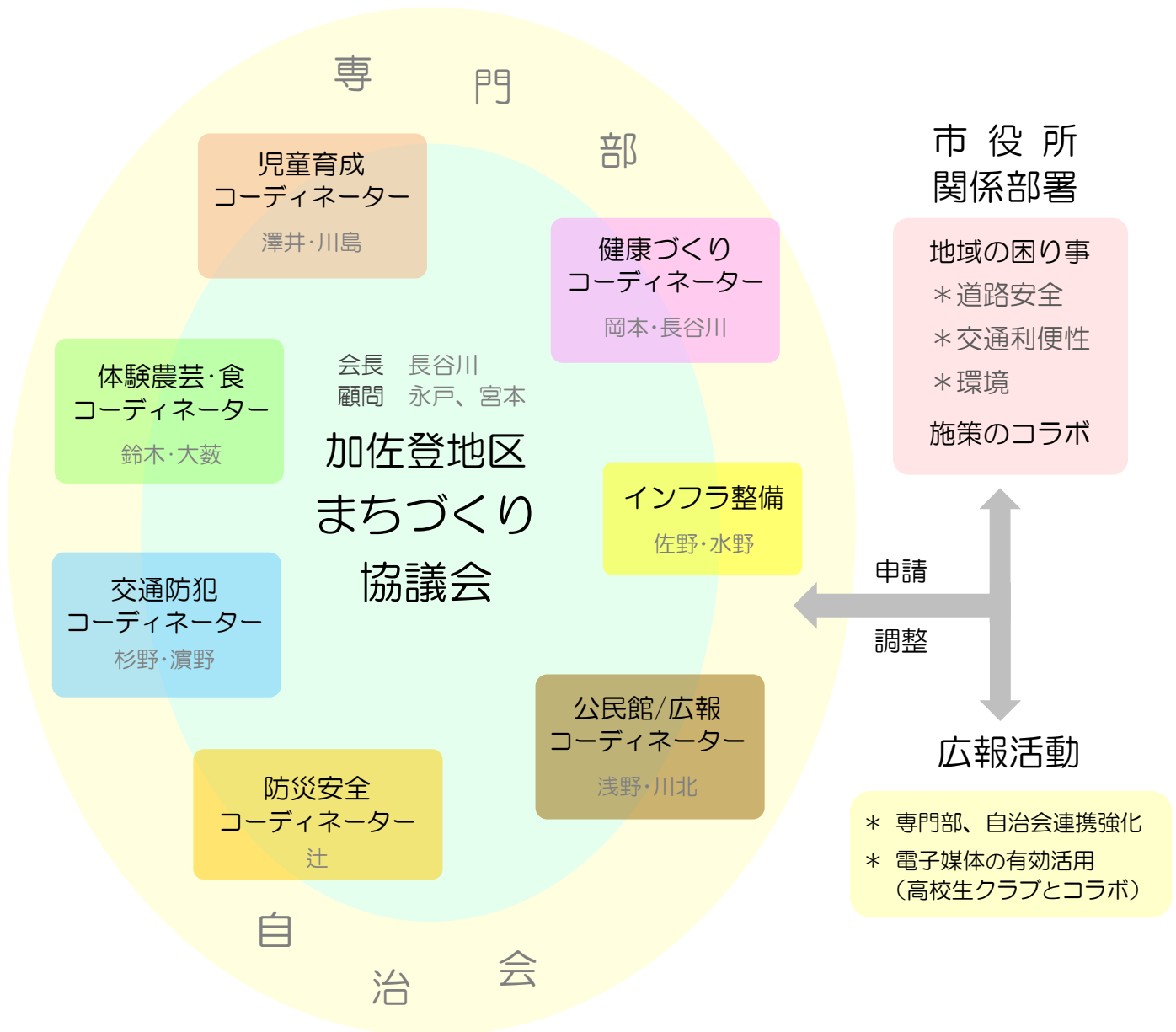
- *地域計画策定委員会 → まちづくり実行委員会 委員長 佐野
- *鈴鹿市役所 → 加佐登地区まちづくり協議会へ 人的・財政・物的支援
- *まちづくり協議会役員 → コラボ展開のコーディネーターを担当推進

コーディネーターについて

まちづくりの取り組みを、5つの領域に整理して、まちづくり協議会の役員をコーディネーターとして配置しました。専門部単独でやろうとすると、偏りやサポートの必要性など、思い切った活性化ができない部分も含め、会長や顧問と相談しながら、各関係部門と調整を図り、効果的でスムーズなコラボ展開を期待して新たに設けました。

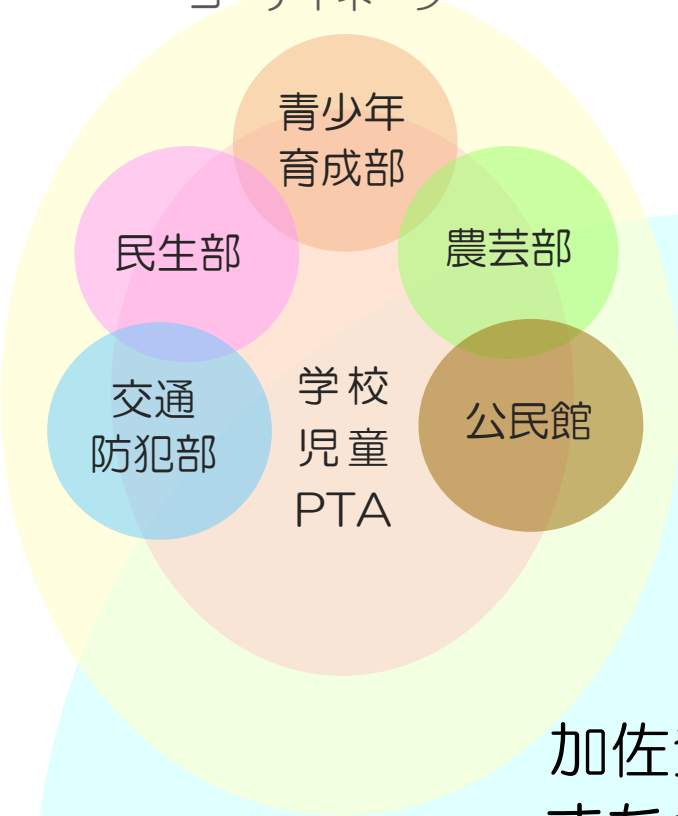
*コーディネーターの役割

テーマ事業を円滑かつコラボ効果を出す為
各専門部（部長）及び関係部門と調整・推進を図る



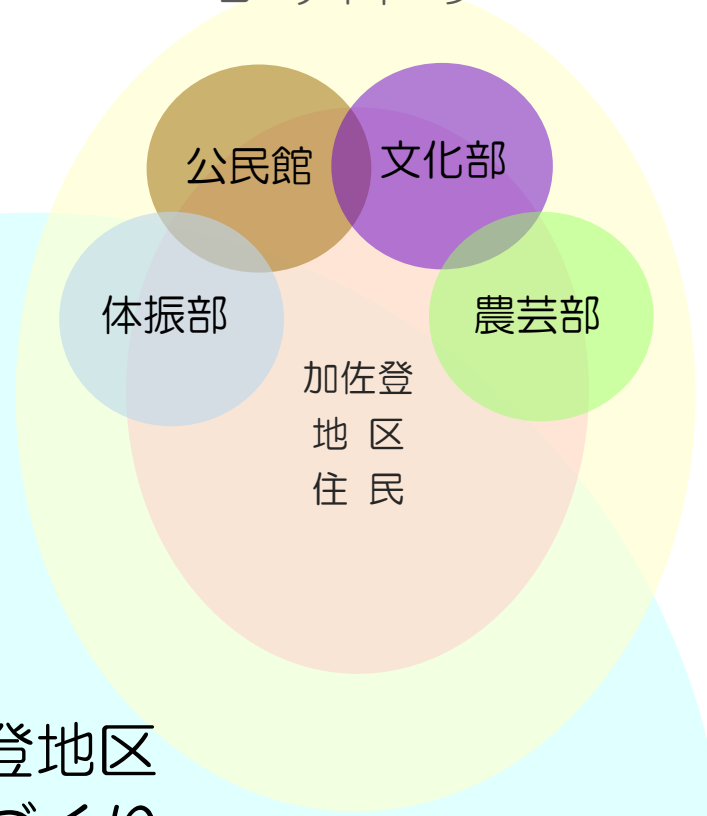
児童育成事業

コーディネーター



《心身共に》 健康づくり

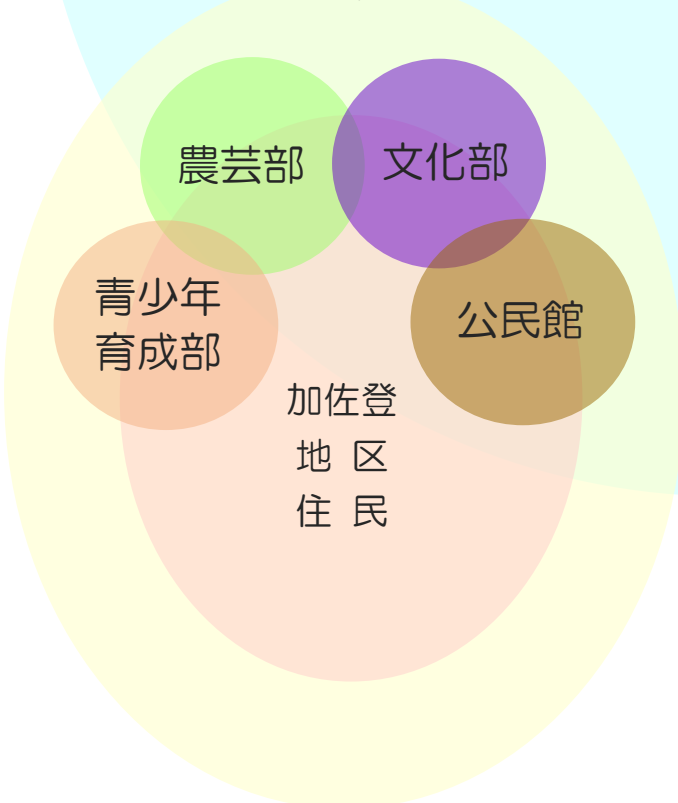
コーディネーター



加佐登地区 まちづくり 協議会

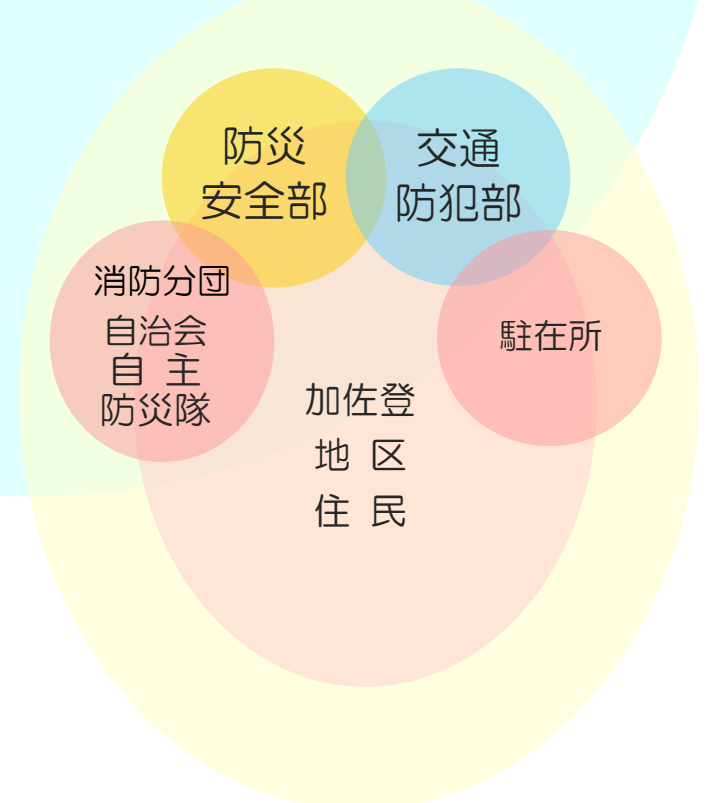
体験農芸と食の文化

コーディネーター



交通防犯・防災安全

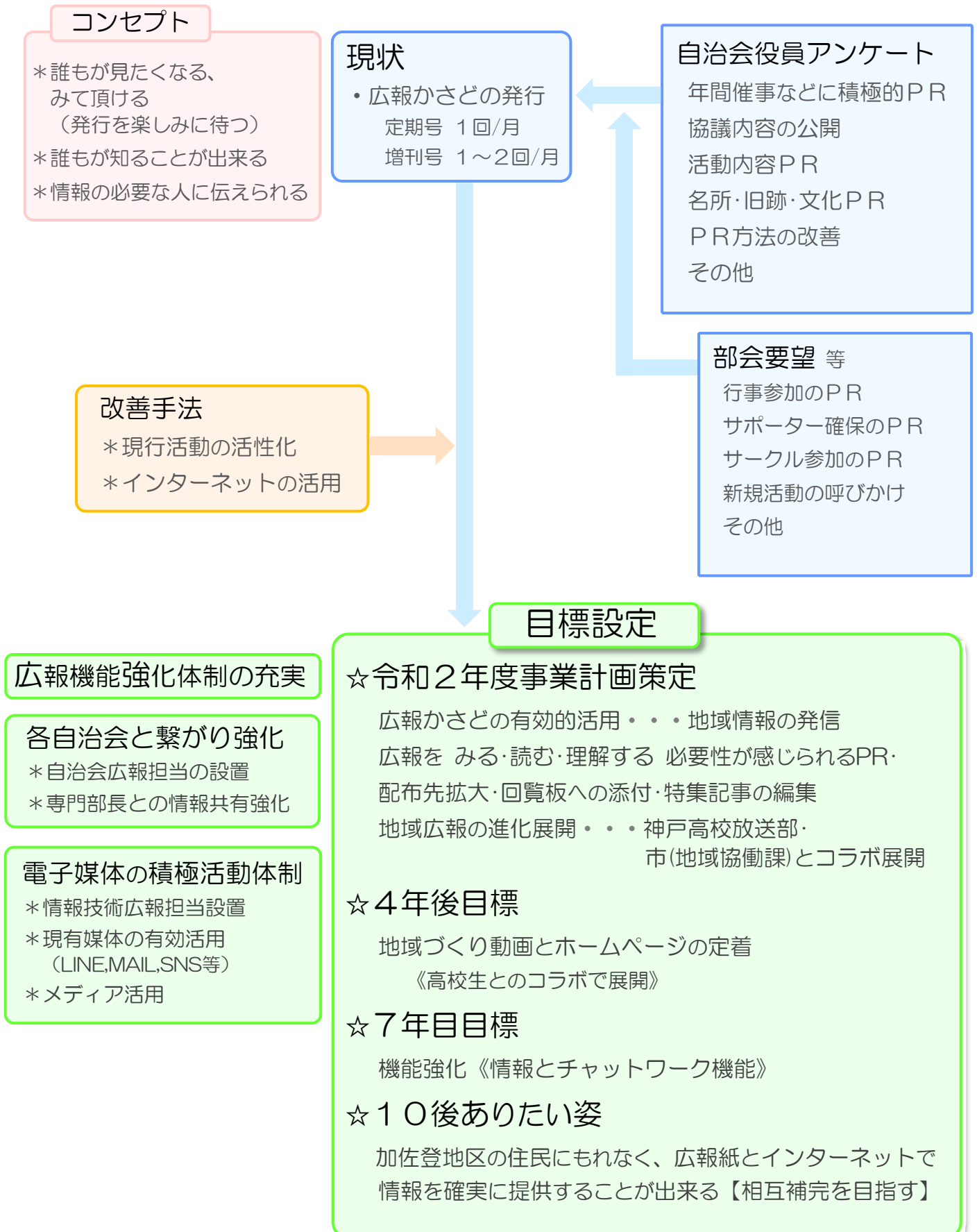
コーディネーター



高度情報化時代の情報促進

地域住民への情報伝達手法の進化と訴求方法の改善

《安全、安心、‘生き生き生活’》を実現する情報の発信



広報活動をどのようにするか

皆さんのアンケートから、「そんな部があるなんて知らなかった」、「そんな公民館活動をしているのか」といった意見が出ている現実が浮かび上がりました。

「広報かさど」を毎月20日の定期号と5日の増刊号を発行してPRに努めていますが、皆さんへの情報発信元として、「見たくなる」、「読みたくなる」、「必要な情報を伝えられる」よう工夫していく必要があります。

また、近年のインターネット、スマートフォンを活用した発信を展開していく必要性も高まっています。

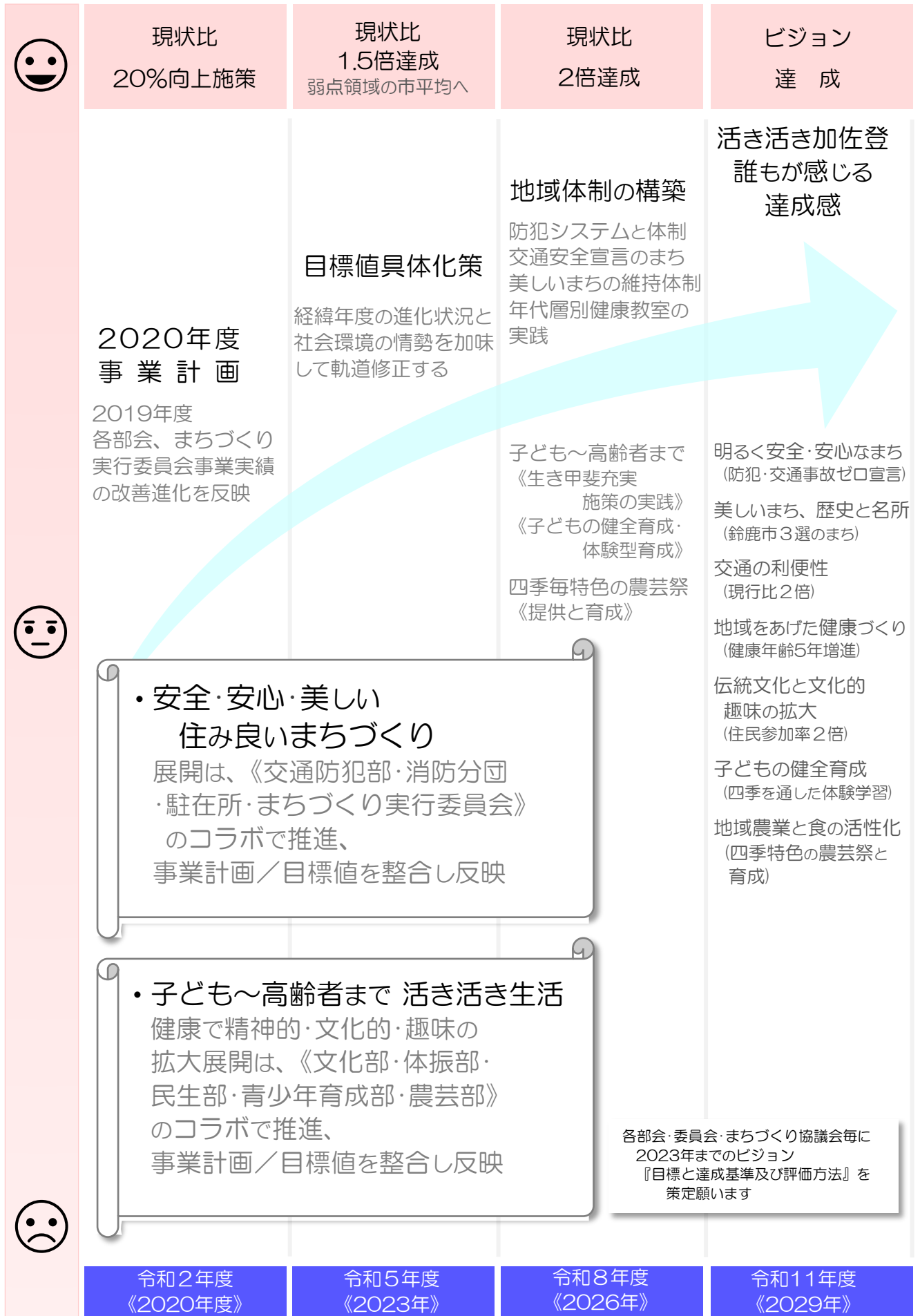


広瀬町
かんこ踊り



ビジョン達成のロードマップ

【満足度（達成度）】





まちづくり協議会
人気の恒例事業
【しめ飾り教室】



ビジョン達成のロードマップ

まちづくり計画として、令和2年度（2020年度）は、最初のスタートダッシュということで、せっかくやるからには、住民の皆さんの満足度20%アップを目標にしていこう。それぞれの専門部で、まずはやってみて、自己満足も含めて、独りよがりになるかもしれませんが、20%アップの向上を目指して展開していくことを設定しました。

更に、令和5年度（2023年度）は1.5倍、令和8年度（2026年度）は2倍、そして、10年後には、ビジョンの達成。こんな考え方で、一緒に意思統一してやっていきませんかという、大きなロードマップを描きました。各専門部には、ロードマップに沿って計画を考えてもらい、ブレイク表として一覧をまとめました。



青少年育成部
さまざまな事業
を実施して、児
童と交流を図っ
ています



策定項目別ブレイク表 《生き生き加佐登地区》

事業施策は年度毎 情勢に応じ見直し改善・改定します

各専門部には、ロードマップに沿って計画を考えてもらい、ブレイク表として一覧にまとめました。

各部会・委員会	コラボ展開	令和2年度 事業計画施策	《4年後》目標設定	《7年後》目標設定	10年後 ‘ありたい姿’
インフラ・地域計画の推進 《加佐登地区地域計画策定委員会》	・まちづくり協議会 ・市民センター ・公民館	行政へ要望活動 ・県道交通安全対策(歩行者・自転車) ・交通利便性対策(ライドシェア等検討)	リニューアル事業の具体策要望 ・公民館&憩いの場 ・体育施設の整備 ・地域ライドシェア等の試行実施	地域総合計画の実施要領と実践 ・公民館施設着工 ・体育施設導入 ・地域交通システム導入	地域インフラの整備完了
公民館活動【社会教育法第20条】 地域住民の教養向上・健康増進 文化振興と社会福祉の向上	・まちづくり協議会 ・幼稚園・小学校 ・青少年育成部	地域住民の文化芸術活動支援 ・ふれあい体験教室(公民館必須事業) ・いざいざ健康教室 ・要請事業(自主計画)	館の利用/利便性向上で利用率1.5倍 ・地域の文化芸術・健康増進活動活性化 ・サークル活動の継続と活性化支援 ・コラボ事業の多様化/効率化	まちづくり及び住民の活動拠点 ・住民の憩いの場 ・情報交換の場提供	地域機能センター確立
地域文化・景観活動 《まちづくり実行委員会》	・まちづくり協議会 ・公民館	伝統文化の発掘と継承 ・地域のふれあい・歴史・文化講演会の充実 ・フェスタ/敬老会 ・地域の美化活動充実	地域名所文化紹介(荒神山、加佐登神社) ・文化講座、史跡資料のPR整備 ・地域の花つくり運動	地域の史跡(伊勢国府)歴史探訪 ・史跡調査と資料調査まとめ ・憩いの場、花壇	地域まち興し形態完了
子どもの健全育成【地域で取り組む】 《青少年育成部》	・農芸部 ・まちづくり実行委員会 ・公民館	地域で育む小学校と連携した体験学習 ・野菜体験 ・夏休み企画 ・地域の人と触れ合い	コミュニティスクール活動(幼稚園・小学校PTAと連携) ・専門部とコラボ展開(知識・知見の活用)	児童の生き生き、満足度1.5倍(学校・PTAから賛同) ・企画の多様化と定着	地域で育てる連携体制の確立
児童・社会福祉の促進 《民生部》	・公民館 ・青少年育成部 ・各自治会	高齢者福祉の促進&児童福祉の促進 ・一人暮らしの見守り体制 ・社会福祉のネットワーク作り ・明るいふれあい&スマイル挨拶	孤立化防止と体制整備 ・生活支えあいネットマップづくり ・災害弱者救済体制の整備 ・子ども支援サロンの充実	地域と融合で孤立者‘ゼロ’ ・徘徊事故‘ゼロ’ ・引きこもり‘ゼロ’ 児童と高齢者	安心支援心システム構築 ・地域ぐるみの融合 ・集い満足度2倍
文化的趣味と芸術の拡大【自己研鑽で地域の融合活性化】 《文化部》	・公民館 ・まちづくり協議会	サークル活動の充実活性化 ・参加加入者の促進 ・文化発表会の企画と推進 ・敬老会での披露と入会奨励	若年層の参加奨励と地域の融合 ・小・中学校と連携(春の発表会) ・新サークル追加(二歳発掘)活性化	人的繋がりと交流で地域活性化 ・サークル間活動の融合 ・地域連携定着	生き甲斐生活に繋がる【趣味・芸術の活性化】
健康づくり促進 《体振部》	・まちづくり協議会 ・各自治会	参加者拡大の施策 ・種目の増加 ・参加者募集システムの進化	参加で人との繋がり、豊かな精神 ・地区別、児童スポーツ取り入れ ・高齢者参加の運動	地域全対象のスポーツ奨励 ・スポーツ大会 ・健康づくりのジムトレーニング	健康年齢の5歳増進 ・体育館(ジム)整備
安全・安心なまちづくり 安心防災の拡大 《交通防犯部》	・加佐登消防分団 ・青少年育成部 ・まちづくり実行委員会	防犯、駅パト/青パトの相乗効果 ・児童見守り隊拡大(青パトの強化) ・防災組織体制の整備と訓練計画充実 《自主防災隊実践訓練強化》	児童の見守り隊体制・システム構築 ・防犯未然防止体制確立で刑犯25%減 ・地域防災体制/システム構築と有事想定への対応	地域ぐるみの活動で事故‘ゼロ’ ・刑犯件数の半減 ・有事対応の地域シミュレーション	安全宣言のまち《交通事故‘ゼロ’》 《刑犯‘ゼロ’》
農芸の改良・進化と育成【食の安全と自然環境保護】 《農芸部》	・青少年育成部 ・まちづくり協議会 ・幼稚園・小学校	地域と農芸の充実【農芸部フェロー人材発掘】 ・農芸祭の開催 ・幼稚園野菜教室(春・秋) ・大人の野菜教室(二歳発掘)	地域の育成と活性化 ・青少年育成部体験野菜教室(指導者派遣) ・空耕作地を利用した家庭菜園奨励 ・小学校PTAコラボ(家庭教育学級)	地域と専門部のコラボ活性化 ・青少年育成部/コミュニティスクール/PTAと連携体制の確立	地域特産の確立

歴史講座：加佐登神社にて



歴史講座：荒神山観音寺にて



農芸部：農芸祭



民生部：一人暮らし高齢者の集い



敬老会
文化部発表
津軽三味線
サークル

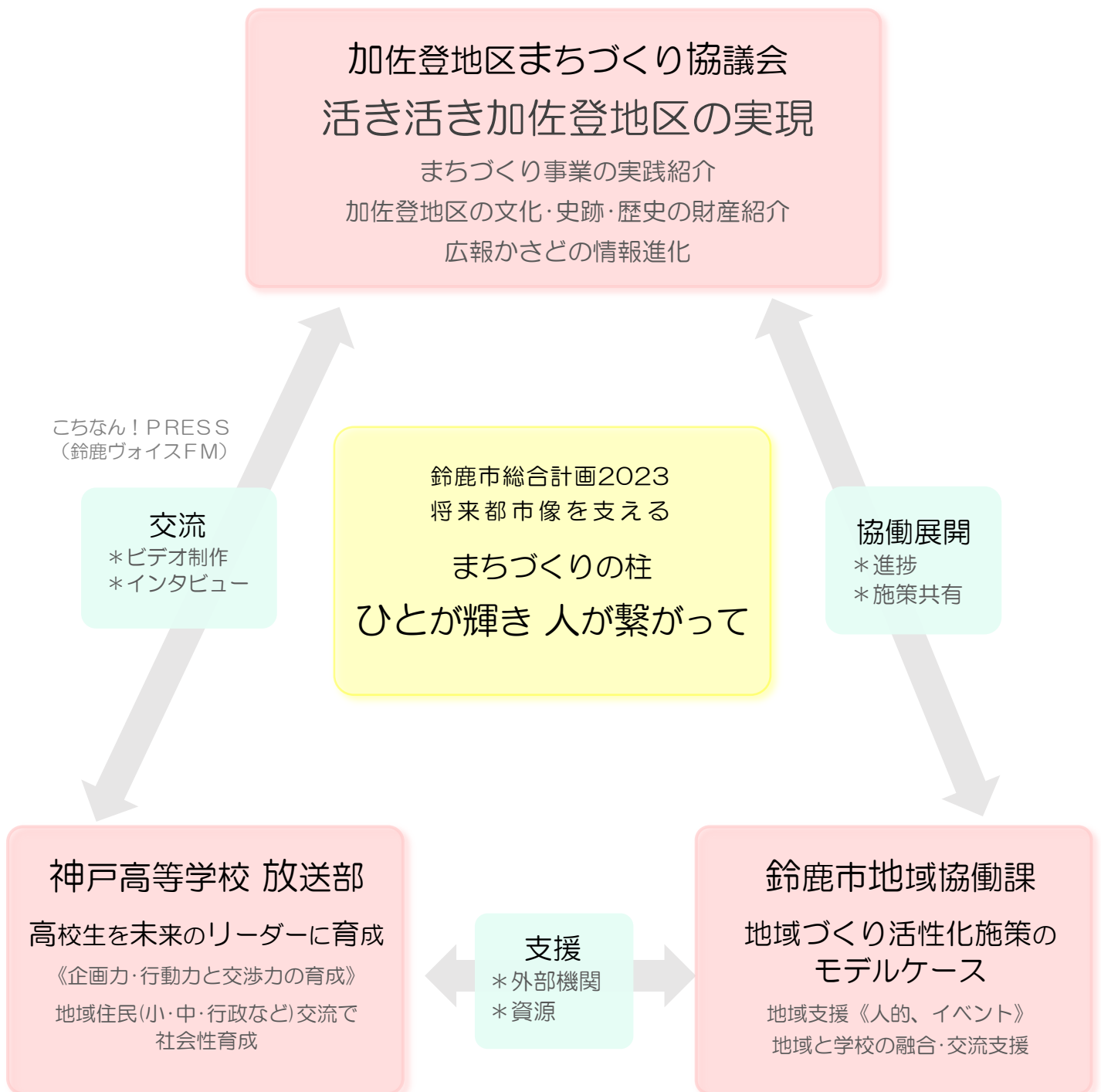


2023加佐登地区まちづくり活性化施策広報プロジェクト

地域活性化の起爆剤として、自分が主役、郷土愛と誇りが受け継がれるために

- ・若い感性と行政の支援で、地域の活性化を促進
- ・私たちの周りで活躍する人たちの姿を、地域の人たちに生き生きと伝える

2023加佐登地区・神戸高・市 協働プロジェクト



プロジェクト展開テーマ概要（案）

加佐登地区まちづくり協議会 × 神戸高校放送部 × 鈴鹿市地域協働課コラボ展開で！
わがまち加佐登の イベント・まちの特色・地域の歴史／史跡 等
動画 メディア活用を通し、お互いの相乗効果を発揮した活動を実践する

イベント取材・動画撮影

編集《1テーマ10分編》

小学校イベント

まちづくり協議会主催

【児童育成イベント】

夏休み企画

- *流しそうめん & ネイチャービンゴゲーム
- *ペットボトルロケット

学校行事の紹介

運動会・卒業式 など

伝統文化の紹介と継承

地域の祭り

広瀬のかんこ踊り
かさどさん《加佐登神社》
荒神山観音寺の催事



コラボ編集

中学校イベント

学校紹介《特色》

文化クラブ活動
運動クラブ活動
文化祭の様子
その他

地域の史跡と 歴史の散策

荒神山観音寺
白鳥塚古墳と加佐登神社
伊勢国府跡
その他

加佐登地域のイベント

地域のイベント

公民館活動と特色
敬老会《高校生と敬老会》
フラワーパークフェスタ
しめ飾り教室
草刈り奉仕活動
かななロード・フラワーパーク



加佐登地域の特色

地域環境と地域

【自治会紹介】
フラワーパーク
白鳥湖・水源探訪
10地区自治会の特色

2023加佐登地区まちづくり活性化施策広報プロジェクト

神戸高校放送部の顧問で、地域活動に積極的な先生がみえるという情報を得ました。今後3年間の予定で、市地域協働課と調整しながら、コラボ展開を図っていきます。

地域の史跡、文化、自治会の紹介をするビデオを制作してもらう予定です。

まちづくり協議会として広報活動を活性化するために良い手段として期待できますし、神戸高校としても、生徒を未来のリーダーとして育成できる機会として捉えています。生徒が、地域との交流を通じて、企画力、行動力、交渉力などの社会性に必要な力を養い、学校と地域との活動展開を図っています。

個人が輝き、人が繋がって



笑顔溢れるイベント
【フラワーパークフェスタ】



昔のあそびを知ろう



荒神山観音寺でネイチャービンゴ
ゲームを楽しむ子どもたち



夏休みのお楽しみ企画
流しそうめん



幼稚園のうさぎの会と一緒に
楽しむクリスマス会



フラワーパークフェスタの様子

みなさまお気軽に
ご参加ください

加佐登地区まちづくり協議会
〒513-0011 鈴鹿市高塚町1068-1
電話 059-378-7422
FAX 059-378-4917